

## ダーツ虎の穴 参加規程

### I. 理念

様々な事由により未だ日の目を見ず虎視眈々と牙を磨く選手達に一つでも多くのチャンスを掴んで頂く為の【スポンサード選手選考会】であります。

選考条件に該当する選手におきましてはこのダーツ虎の穴にて【心・技・体】を鍛え上げ、日々の鍛錬・SOFTDARTS PROFESSIONALTOUR JAPAN 参加経費など所謂スポンサード料を掴み取り【SOFTDARTS PROFESSIONALTOUR JAPAN】で活躍される事を応援致します。

ダーツ虎の穴は、選考会を通じ、ソフトダーツ界全体のさらなる飛躍と、次代のダーツプロ発掘及び支援を目指して参ります。

ダーツ虎の穴実行委員会

### II. 選手の義務

すべてのダーツ選手の模範となり、マナー、プレイなどについても手本となるように務めなければならない。したがって、トーナメント中以外での行いも処分対象となる場合がある。

### III. 開催定義

すべてのトーナメントについては、SOFT DARTS PROFESSIONAL TOUR JAPAN プロ規程（以下規程）に定める規程に従うものとする。

- ダーツ虎の穴の開催は、基本的に年間タイガーステージ4戦・猛虎ステージ予戦2戦・猛虎ステージ本戦1戦が行われる。開催数は増減する場合がある。
- 開催スケジュールは、ダーツ虎の穴の判断により中止、変更される場合があり、その場合は決定した段階で発表される。
- 開催にあたっては、DARTSLIVE社製「DARTSLIVE2EX 筐体およびDARTSLIVE3 筐体（以下公式マシン）」及びその他のダーツマシンを使用する。

### IV. 一般規程

- ダーツ虎の穴は、公式トーナメント等の試合を開催する等、認可することにおいて全ての責任があり、また協賛者、協力者等を任命する権利を持つ。
- 全ての選手は、全てのトーナメントにおいてダーツ虎の穴によって任命された役員（以下役員）およびスタッフの監督、指導のもとにおかれる。
- 規程に付属する全ての事柄における最終決定権は、役員、またはダーツ虎の穴実行委員会（以下実行委員会）にある。
- 全ての選手は規程に基づいて競技を行い、追加の規程については穴実行委員会を通じて、制定される。
- 実行委員会は、トーナメントの日付や時間、場所等を選手への予告なしに変更及び中止する権利がある。
- 実行委員会は、トーナメントにおいて違反あるいは損害をもたらしたと見なされる全ての選手を処分する権利がある。
- 実行委員会は、選手の責任において、損傷や損害が発生した場合は一切の責任を負わない。

## VI. 会員情報

### 情報の管理

- 選手情報は、ダーツ虎の穴事務局（以下事務局）が管理を行い、その取扱については厳重に行うものとする。

## VII. トーナメント

### 運営

- トーナメントは実行委員会により運営される。
- 参加者は、トーナメントを速やかに進行することに努め、故意による遅延行為などを行ってはならない

●競技規則は、JAPAN 競技規程を適用する。

●競技方式および出場選手数等は、実行委員会の決定により変更することができる。

#### エントリー

●トーナメントに出場する場合は、Web よりエントリーを行い、締切までにエントリーフィーを振り込む。

エントリーした場合は、Web でエントリーおよび支払状況を確認しなければならない。エントリーを行っていない場合は、いかなる理由があろうとも、トーナメントへの出場はできない。

●振込期間を過ぎた場合には、メールにてエントリーの受付を取り消す旨をつたえる。

●エントリーを受付した後振込しエントリーが確定すると返金対応はできないものとする。

#### 審判の義務

●審判は公平かつ速やかに試合が進行するよう、当該試合のすべての権利を有する。

●審判はコーク時のジャッジ、誤反応の修正以外は審判席に着席し、スコアの記入および試合の監視を行う。通常のゲーム進行に関しては、選手自身が行うものとする。

●審判を放棄した場合、注意処分ならびに違反金として 5,000 円を支払うものとする。この場合、支払が完了するまではその後のトーナメントにエントリーができないものとし、年度が変わった場合でも引き継がれる。

また、当該トーナメントで獲得した副賞も放棄したものとみなし無効とする。

●また、やむを得ない事情と実行委員会が判断した場合は、審判を免除する場合もあるが、その場合は次トーナメントで率先して審判を行わなければならない。

●審判は、試合の状況確認等のためにタイムアウトが取れる。これは回数の制限はないものとする。

●審判がジャッジできない場合及びマシントラブルが起きた場合は直ちにコントロー

ルデスクに報告をしなければならない。報告無く試合の進行が遅れた場合は処分の対象となる。

●試合中審判が体調不良などの理由で試合を続行できない場合、三者同意のもとコントロールデスクに報告し実行委員会にジャッジを求める。

●選手は事前にコントロールデスクに申請することで、審判の免除が可能となる。その際審判免除申請書に必要事項を記入し提出しなければならない。また免除申請料として、5,000円を支払うものとする。ただし審判の免除が可能となるのは、審判として指名される前までとする。